



事業創造型 想造商社

“Imagination & Creation, Tokyo Boeki”



TOKYO BOEKI GROUP

東京貿易グループ

第102期 事業報告書

2021年4月1日 ▶ 2022年3月31日

代表取締役会長
加藤 三四郎



代表取締役社長
坪内 秀介

企業風土の再構築と、成長軌道への回帰に向け、新体制で再スタートします。

2022年6月24日付で代表取締役社長を退任し、代表取締役会長に就任いたしました。社長在任中にはステークホルダーの皆様にご指導、ご支援を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。

5年前に社長に就任した際、私には実現したい夢がありました。それは、私の入社時（1969年）にあった会社の「澁刺とした雰囲気」を取り戻したいというものです。「澁刺とした雰囲気」を実現した結果が「成長」であると考え、さまざまな施策に取り組んできました。

夢の実現は道半ばではありますが、今が新体制移行のタイミングと捉え、次の世代に任を託すこととしました。後継の坪内社長には、ぜひ明るく、素直に、賢く、遅しい——そんな東京貿易グループの文化を再構築して欲しいと思います。

代表取締役会長 加藤 三四郎

経営トップとして東京貿易グループの成長戦略を力強く推進します。

このたび加藤会長の後を受け、代表取締役社長に就任した坪内でございます。就任にあたりステークホルダーの皆様にご挨拶申し上げます。

不確実性が高まり、従来の常識や価値観が通用しなくなった時代に、東京貿易グループの舵取りを担うこととなりました。責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いでおります。

社長としての私の使命は、加藤会長が進めてきた企業文化の再構築を加速し、東京貿易グループの持続的成長を実現することに他なりません。使命達成のために具体的な施策をしっかりと打ち出すとともに、社内外に向け積極的に情報発信を行うなど、透明性の向上に取り組んでまいります。今後とも引き続きご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 坪内 秀介

東京貿易グループの経営理念

東京貿易グループは、一人ひとりが仕事に誇りをもち、
夢を実現する創造性豊かな会社を創り上げ、より良い社会の実現と持続に貢献する

事業創造型 想造商社として「既存事業の深耕」と「新規事業の創出」を軸に飛躍を目指します。

東京貿易グループは、独自の価値観である「創業の三精神+1」のもと、創業時の仲介型ビジネスから事業型ビジネスへの転換を進め、基盤を強化してきました。今日では「事業創造型 想造商社 "Imagination & Creation, Tokyo Boeki"」をビジョンに掲げ、未来の社会ニーズを想像し、新たなビジネスを創造できる商社を目指しています。新経営体制発足にあたり、新会長・社長が今後のグループ成長戦略について語り合います。

2022年3月期はセキュリティ事業が好調に進捗するもローディングアーム事業は転換期

加藤：2022年3月期は、売上高325億86百万円（前期比23.0%減）、経常利益35億27百万円（同15.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益21億97百万円（同12.9%増）と減収増益での着地となりました。先行き不透明な状況の中、結果として当期純利益ベースでは増益となり、事業を担うグループ会社の皆様が健闘して下さったこと、経営者として心より感謝します。

監視カメラなどセキュリティ関連、LNGの荷役に不可欠なローディングアーム関連の2事業を主軸に展開する当社グループですが、近年はセキュリティ事業が堅調に推移する一方、ローディングアーム事業は転換期にあり、業績が伸びない要因の一つとなっています。

坪内：国内で実質シェア100%を誇るローディングアーム事業ですが、国内のLNG基地建設が一巡し、今後の市場拡大が期待できないことから、現在海外シフトに向けた取り組みを進めています。

失敗を恐れずチャレンジする企業文化を取り戻す

坪内：近年の業績の伸び悩みについては、社員の成長意欲・意識の問題もあるのではないのでしょうか。東京貿易は1947年に創業し、70年代頃から急速な成長を遂げてきました。しかしバブル崩壊以降、厳しい事業環境が続く中で新しいことに挑

戦するより「失敗しないようにやる」という守りの姿勢が社内に着いてしまい、それが今日につながっていると思います。

加藤：そうですね。私が社長に就任した当時、社内には「現状維持」で良しとする空気が広がっている印象でした。積極的に「文化を再構築して成長を取り戻そう」と社員に語りかけてきた結果、徐々に社内も「変わらなくてはいけない」という雰囲気になってきたと感じています。

数年であれば、当社グループが現状を維持することも難くないでしょう。しかし急速な環境変化の中で創業100年を迎えるためには、想造商社として失敗を恐れず果敢なチャレンジを繰り返し、成長していかなければなりません。

坪内：今後は失敗をプラスに捉え、社員の前向きなチャレンジを促す会社にしていきたいと思っています。制度面の検討はこれからですが、まずは私を含め、グループを束ねる立場

にある経営陣が率先して困難な課題に挑戦し続けていくことが、社員への前向きなメッセージになると考えています。

成長に向けて「既存事業の深耕」と「新規事業の創出」を両軸で推進

加藤：私たちがビジョン実現のために挑戦すべき課題は、「既存事業の深耕」と「新規事業の創出」です。

坪内：まず既存事業では、お客様の内部でも大きな変革が進みつつあり、新しいニーズに対応するサービスを検討・提案していくなど、いろいろな可能性を探っていきたくと考えています。これらの取り組みを重ねていく中で、参入すべき新しい事業分野も見えてくるのではないのでしょうか。

いずれにしてもホールディングスがリーダーとして各グループ会社の事業戦略にコミットし、グループを俯瞰してヒト・モノ・カネの最適配分を判断するとともに、社員と一緒に汗をかいていかなければならないと思っています。

加藤：2020年にグループ内のイノベーション促進を図り、ベンチャーファンドの運用やM&Aコンサルティング、新規事業開発を推進する新会社tb innovationsを設立しました。すでに同社が提唱する科学的アプローチを受け、グループの

業務スタイルの変化などの成果が表れてきており、私の社長時代の功績の一つと自負しています。

坪内：DXによる業務効率化、新たな価値創出についても、グループ横断で取り組みを進めています。

長年にわたり蓄積してきた独自の経験・ノウハウをデジタル化し、新サービスとして活用することで既存事業でのビジネスチャンスが広がるとともに、新規事業でもデータ活用ソリューションの展開により、新たな価値を提供していくことができると期待しています。

加藤：さらに、新規事業については、2022年7月にはホールディングスで役員直轄の実行部隊を立ち上げ、複数の事業開発プロジェクトをスタートさせる予定もあります。

人の成長が会社の成長を生み出す

坪内：グループの持続的成長を支える基盤として、私は特に人材を重視しています。成長市場も、やがては成熟し衰退する時が来ますが、会社は、「新たな価値」を創出できる人材がいる限り永遠に成長し続けることができます。当社グループにとっても、未来を担う優秀な人材を継続的に育成できる環境づくりが不可欠です。そのためにも、会社（経営陣）と社員の信頼関係が重要だと考えています。

加藤：会社が社員に信頼されるためには、社員に何かを要求する前に、まず社員のために何ができるかを考え実行し、その上で社員に協力を求めるという関係を目指すべきでしょう。それが創業の三精神の一つ、「全員経営の精神」だと思います。

坪内：方針を示さず、責任も取らない経営者では社員から信頼されず、一緒に仕事をしようと思ってもらえませんので、まずは私自身が東京貿易グループとして目指す目標を表明し、それが達成できなければ社員に対し謝罪する——トップとして責任を取ることが社員との信頼構築につながると考えています。

加藤：そうですね。会社の重要なステークホルダーである社員とコミュニケーションをとり、信頼関係を築くことで、社員が東京貿易グループの一員であることを誇りに思えるような会社を作っていきたいです。

坪内：トップとして会社が成長発展できるよう事業ポートフォリオの転換に取り組むとともに、社内外に対し明確なメッセージを発信し、経営の見える化に取り組む決意です。



代表取締役会長
加藤 三四郎

代表取締役社長
坪内 秀介

創立75周年を迎えました。

東京貿易グループは1947年の創業以来、築き上げてきた専門性と事業力をさらに高め、創業の三精神+1をTOMAS精神とし、グループが一体となり、創造性豊かな会社を創り上げ、より良い社会の実現と持続に貢献します。



- 1947年
創業者・松宮康夫、(株)
東京貿易商会を設立
- 1948年
金属・機械部門へ進出
- 1950年
穀物・肥料部門へ進出



- 1960年代
海外へ次々と拠点を展開
モスクワ、北京、シドニー、メルボルン、
ニューヨーク、ブカレストほか



- 1967年
モスクワ駐在所が、ソ連政府より自由
圏企業第1号として正式認可を受ける

- 1969年
厚木工場完成・操業開始、計測・デザイン機器メーカー分野へ進出

1940

1950

1960

1970

1980

1990

2000

2010

2020

- 1951年
食糧庁の外国産輸入食糧指定商社となる
- 1953年
中国との戦後初のバーター取引に成功、「トマス方式」を生み
出し、日中貿易の先駆者となる
- 1954年
鉄鋼取引に進出し、八幡製鉄（現日本製鉄）の指定輸出業者と
なり、鉄鋼及び関連取引発展の基礎を作る
- 1955年
米国チクサンジョイント、ローディン
グアームの総代理権を取得し、機械
輸入取引を開始する
- 1957年
(株)東京貿易商会を改め、東京貿易
(株)に社名変更



- 1973年
ニューヨークのウォルドルフ・アストリアホ
テルに高級日本食レストラン「稲ぎく」を開店
し、レストラン事業分野へ進出
- 1974年
カタールに合併一貫製鉄所QATAR STEEL
CO.,LTD.を設立し、中東ではじめての製鉄所
を建設、国外立地・多国間取引に進出
- 1978年
トヨタ自動車、日野
自動車製自動車を中
国向けに大量成約
し、長年の中国との
取引が飛躍的に拡大
する



- 1980年
豪州B.H.P社グレゴリー
炭長期輸入契約を締結



- 1983年
原料炭供給源の多様化に
対応し、カナダ・クイン
テットコール社へ出資

- 1985年
米国ニュージャージーにMONITOR PRODUCTS,
INCを設立し、米国内家電販売事業に進出

- 1986年
豊田にテービーテック（株）を設立

- 1988年
米国デトロイトに駐在員事務所を開設
(現TOKYO BOEKI NORTH AMERICA, INC.)

- 1994年
厚木工場を東京貿易テクノ
システム（株）として独立
企業化

- 1995年
(株)ティービーアイを設立

- 1999年
東京貿易メディシス（株）
を設立

- 2001年
東京貿易メカニクス（株）を設立
東京貿易（中国）有限公司を設立

- 2003年
東京貿易エンジニアリング（株）を設立

- 2005年
製鉄用耐火レンガ事業総合化への取り組みと
して、中国に東京貿易（北京）有限公司を設立
耐火レンガの販売を中心に事業領域の拡大を
目指す

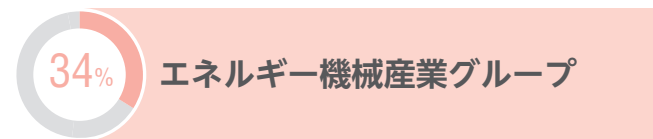
- 2006年
東京貿易マシナリー（株）、東京貿易マテリアル
（株）を新設分割により設立、「東京貿易グループ
連邦経営」に移行

- 2020年
(株)tb innovations設立

- 2021年
東京貿易マシナリー（株）
と東京貿易エンジニアリン
グ（株）の合併により、TB
グローバルテクノロジーズ
（株）設立

- 2022年
創業75周年 加藤会長、
坪内社長体制へ

※ グループ会社は、現社名にて記載しております。



売上高 **11,038** 百万円 (前期比 △18.4%)

営業利益 **1,071** 百万円 (前期比 △39.9%)

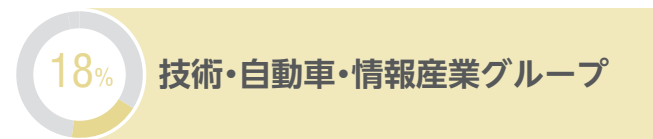


－ 事業内容

電力・ガス・石油・石油化学など、エネルギー関連業界向けに流体荷役機械及び関連機器、ガス関連各種機械、発電関連機器・装置、環境関連機器などの開発・製造・販売を行っています。主力の流体荷役機械は、製販一貫体制のもと、優れた製品を世界中のユーザーに提供し、高い評価を得ています。

－ 事業概況

エネルギー業界では、世界的に脱炭素社会へ大きく舵が切れ、水素エネルギーや再生可能エネルギーへの転換が求められています。また、化石燃料や資材の大幅な高騰を受けて、当社の主力製品であるローディングアーム事業では、国内市場の縮小を補うべく海外市場への進出を強化するため、当グループ内の販売会社と製造会社を統合させて、2021年4月にTBグローバルテクノロジー株式会社が発足しました。海外市場に通用する価格水準と品質の両立の追求、水素用ローディングアーム等の新商材開発、及び新規事業である運搬支援ロボット事業の推進に取り組んでおりますが、収益化に時間を要することから、当グループとしましては、減収減益となりました。



売上高 **5,996** 百万円 (前期比 +13.0%)

営業利益 **589** 百万円 (前期比 +88.1%)



－ 事業内容

三次元測定機などから収集されたデータ及び製造の現場などで蓄積された知見・ノウハウなどを、関連ソフトウェア及びIoT製品などを活用し、生産性向上のためのソリューションとしてご提案・ご提供し、お客様のスマートマニュファクチャリング構築に貢献するエンジニアリングの専門集団です。

－ 事業概況

経済活動の回復に伴い、主要顧客である自動車業界での投資が増加したことで、当グループの主力製品である三次元測定機は同業界向けに前期と比して売上が回復しました。さらに、新たな顧客層として開拓を進めていた建設業界においてもトンネル工事用設備として初めて受注を獲得しました。このような事業拡大に向けた取り組みの結果、当グループとしましては、増収増益となりました。



売上高 **14,699** 百万円 (前期比 △6.8%)

営業利益 **2,411** 百万円 (前期比△11.6%)

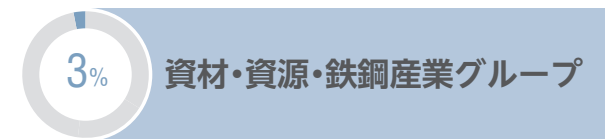


－ 事業内容

セキュリティ機器、医療機器、理科学機器など、多岐にわたる製品の開発・製造・販売を行っています。とくに、セキュリティ事業では、海外の監視カメラを中心としたセキュリティ機器を厳格な品質管理のもと、現地調査からシステム設計、提案・見積り、施工、修理・メンテナンスまでのトータルサービスで国内市場に提供しています。また、医療機器分野においては、小型の臨床検査用自動分析装置が世界約80カ国で販売されるなど、優れた実績を誇ります。

－ 事業概況

主力のセキュリティ関連事業において、過去最高の売上高を記録した前期から、さらに提案力を高め、高機能機器を使った大規模案件やTAS (TB-eye AI Solution) などを組み入れたソリューション案件を獲得し、売上は堅調に推移しております。また、9年目に入ったインカム事業は医療・介護分野で販売を拡大し、前期から本格参入したEC (電子商取引) 事業も販売チャネルを拡げた結果、過去最高の売上高を更新することができました。他方で、セキュリティ関連事業で進める画像解析防犯システムの開発で先行投資がかさんだことや、ロシア向け酸素発生装置の取引高減少を受けて、当グループは減収減益となりました。



売上高 **932** 百万円 (前期比 △87.9%)

営業利益 **367** 百万円 (前期比 +40.0%)



－ 事業内容

資材関連では、中国の合併会社で開発・製造した耐火物を中心に鉄鋼業界へ安定供給し、アフターサービスまでのトータルサービスを提供しています。鉄鋼関連では、高級鋼をはじめとする各種鋼材を需要家のニーズに基づき東南アジア市場を中心に供給するとともに、事業の構築を推進しています。また、鉄鋼業界の脱炭素化、省エネ化、デジタル化などの課題を解決するデジタルソリューション事業を展開しています。そして資源関連では、鉄鋼原料、資機材を主体に海外より調達・供給しています。

－ 事業概況

コロナ禍からの回復に伴う製造業の生産再開に伴い主要取引先である鉄鋼大手各社が活発な粗鋼生産を行った影響を受けて、主力の資材事業では耐火煉瓦の需要が回復しました。また、鉄鋼事業においては、昨年に続いてベトナム向け建材用鋼材取引が拡大したことに加えて、インド向け自動車用鋼材取引も大きく伸長したことで、当グループ全体の取扱高を大幅に伸ばす結果となりました。中国政府におけるエネルギー政策の影響による耐火煉瓦の原価高騰や、年が明けてからの鋼材市場の不透明感といった懸念材料はあるものの、当グループでの取扱高が増加したことや、収益認識会計基準等の適用により代理人として関与した取引について売上高を純額とした影響等で、当グループの業績は減収増益となりました。

東京貿易グループ

全社オペレーション改革「Office365活用推進プラン」展開

2021年4月のDX構想「TOMAX～未来づくり大作戦～」の発表を踏まえ、Lv.1として位置付けた全社オペレーション改革（業務改革）の具体的な取り組みとして「Office365活用推進プラン」を打ち出しました。ハンズオンセミナーやeラーニング、活用事例紹介などの教育コンテンツを全社展開するとともに、ワークショップの開催を通じて実務との紐付けを行い、その集大成としてコンペティションを開催いたしました。現状分析と課題の洗い出しを改善活動に結び付ける機運とともに、改善活動を受け入れる風土も醸成し、グループ内外問わず他社の良い取り組みも真似て取り入れながら、経営・事業・人材の共成長に結びつくよう、DXを強力に推進してまいります。



Office365活用推進プランイメージポスター

国内グループ TBグローバルテクノロジーズ株式会社

カタール国North Field East (NFE)LNG輸出基地向けローディングアーム受注

この度、TBグローバルテクノロジーズ(株)はカタール国営石油会社にて建設中のカタールガスNFEプロジェクト向けにLNG出荷用ローディングアームを受注いたしました。本プロジェクトは年産3,200万トンのLNGを製造・輸出する超大型案件であり、当社ローディングアームは世界一の出荷量を誇る同国ラスラファンLNG輸出港に今後順次設置される予定です。本プロジェクトを通じカタール国は年産7,700万トンから1億1,000万トンのLNG増産を計画しております。また、今回の計画では従来の生産設備より温室効果ガスを25%以上も削減したLNGが生産可能となることで当社のローディングアームを通して日本国はもとより全世界向けによりクリーンなLNGが出荷される予定です。今回この戦略的なプロジェクトに選ばれたことは当社にとって大変な誇りであり、50年以上にわたるLNG移送における実績が評価された次第です。また、カタールにて卓越した品質とサービスの実績がお客様に評価をいただきました。当社は今後も世界のLNGバリューチェーンに貢献する所存です。



カタール国ラスラファンLNG輸出基地

国内グループ 東京貿易メカニクス株式会社

LPガス着臭設備無害化工事

2021年4月、石油元売り会社の統合によるプラントの廃止を受け、LPガスに匂いを着ける着臭設備の無害化工事を施工しました。この工事の目的は、プラントの撤去工事を行う際に、着臭剤が外部に漏れて近隣住民にご迷惑が掛かることがないよう、事前に着臭剤の全量回収とタンク内部及び配管内部の洗浄脱臭を行うものです。本工事では、6,000リットルの着臭剤の回収を行い、外部への臭気漏れを起こさず無事に完了することができ、お客様からもプロフェッショナルとして高い評価をいただきました。

東京貿易メカニクス(株)は、長年の経験と技術力をもって、地域の皆様がこれまでどおり快適に暮らしていただけるよう、引き続き生活環境の保全に努めてまいります。



LPガス着臭設備無害化工事の作業風景

国内グループ 東京貿易テクノシステム株式会社

トヨタ自動車(株)より2021年度「技術開発賞」受賞

2022年3月、東京貿易テクノシステム(株)は他2社と共同でトヨタ自動車(株)より2021年度表彰の「技術開発賞」を受賞いたしました。同賞は、革新的な技術でものづくりを推進したサプライヤーに授与される賞で、トヨタ技術関連の賞の中でも最も栄誉ある賞の一つです。当社の技術の高さが「世界のトヨタ」に評価された受賞です。

受賞内容は「汎用設備の連動による高性能な自律型自動建付測定技術の開発」で、当社の測定機と協働ロボット、AMR*を組み合わせた自動建付測定システムです。この技術によって完成車検査の省人化、迅速化が可能となり、従来の検査設備スペースは他社設備の1/2、投資費用は1/3となりました。 *AMR: Autonomous Mobile Robot 自律走行型ロボット



受賞した開発メンバー

国内グループ テービーテック株式会社

製造業特化型データサイエンス集中コースが教育訓練講座に認定

テービーテック(株)は、1986年の創立当初から自動車製造業を中心にシステムソリューションの提供を行ってきました。大手自動車メーカーとの長年に及び取引の実績、経験から製造業向けの生産管理・設備保全・原価管理システムなどを開発し、導入からシステム構築・運用までをトータルにサポートしています。近年は、企業競争力を向上させる動きがますます加速し、製造業のAI活用が必須となっています。そんな中、AI開発や導入支援、製造業の現場で活躍できるデータサイエンティストの人材育成を支援しています。「製造業特化型データサイエンス集中コース」は、経済産業省よりAIの分野において専門的・実践的な教育訓練講座として「第四次産業革命スキル習得講座」に認定いただきました。



製造業特化型データサイエンス集中コース

国内グループ 東京貿易マテリアル株式会社

AI・デジタルソリューション事業の進展

東京貿易マテリアル(株)デジタル事業推進グループでは、2019年より鉄鋼業界のお客様へご提供している耐火物煉瓦の残厚測定システムの販売促進に加え、各種測定サービスの拡充を進めています。従来は経験豊富な技術者の目利きによって判断されてきた熱間状態の製品寸法・曲がりなどの計測のデジタル化、又、工場レイアウトの図面化・3次元化など新たなサービスを増やしております。また将来的には、工場設備管理において、従来計器と新センサーを組み合わせ、AI画像解析を利用した自動判定・通知システムの開発を目指します。省エネ化、脱炭素化、デジタル化が進む過程において、弊社独自のサービスでお客様の課題を解決し、持続可能な社会へ貢献してまいります。



現場測定

国内グループ 株式会社ティービーアイ

クリアートークカムの液晶画面付き新デジタルインカムをリリース

液晶画面を搭載したクリアートークカムの新デジタルインカムを、2021年11月にリリースしました。会話グループ・電池残量・電波レベル・音声レベルなど、従来品では分かりにくかった設定内容を、液晶画面で確認できるようになりました。また、操作が簡単にできる新しいボタンやブルートゥースの標準搭載など、現場のニーズを踏まえてより使いやすく改良しました。ナースコールや見守りセンサーとの連動も可能*で、医療・介護施設での採用が増えてきています。優れた機能性と操作性による現場のコミュニケーションの改善を通じて、医療・介護業界等の業務効率化、現場の負担軽減、サービス向上に貢献すべく、今後も取り組んでまいります。 *対応システムのみ

国内グループ 東京貿易メディシス株式会社

JACLaS EXPO 2021 in 横浜 出展

2021年10月8日(金)～10(日)の3日間、JACLaS EXPO 2021 in 横浜に出展いたしました。2020年はコロナ禍で中止だったため、2年ぶりの開催となりました。JACLaSは、臨床検査の分野に特化した国内最大級の展示会で、医療機器、検査システム、検査薬のメーカーが一堂に揃う展示会です。ご来場されるのは、国内外のドクター、臨床検査技師、医薬卸の方々などさまざまです。今回は東京貿易メディシス(株)の商品だけではなく、(株)ティービーアイにもご協力いただき、感染症対策商品として、空気清浄機、マルチターミナルも展示いたしました。コロナ制限緩和の直後だったこともあり、来場者数は例年比約50%減(約4,000人)でありましたが、お陰様で当社ブースには前回並みのお客様にお越しいただきました。引き続き当社製品を通じて、世界中の人々の健やかさ、そしてその先に広がる幸せな未来づくりに貢献できるよう今後も努力してまいります。

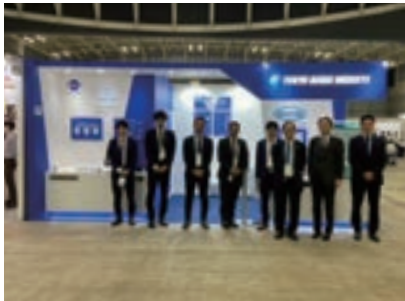
国内グループ 株式会社tb innovations

オープンイノベーションによる新規事業創出プロジェクト始動

東京貿易グループCVCファンドの投資先であるインフォメティス(株)(以下インフォメティス)とTBグローバルテクノロジーズ(株)(以下TBG)並びに(株)tb innovationsは、互いの異なる文化を共有しながら環境・エネルギーマネジメント、生産効率の最適化を目的としたTBG長岡工場の「電力見える化プロジェクト」を始動いたしました。インフォメティスの機器分離技術を有するセンサーを、TBG長岡工場に設置し、電力の波形データを解析することで、それぞれの機器が「いつ、どれだけの電気を使用したのか」見える化いたします。これにより、TBG長岡工場の機器の稼働監視、節電、異常検知等の効果を期待しております。本取り組みは、全国の中小企業へパッケージソリューションとして提供することを見据えた実証実験となります。



2021年11月にリリースしたクリアートークカムの新デジタルインカム



JACLaS EXPO2021 in 横浜に出展



連結グループ会社の概要

国内グループ会社

株式会社ティービーアイ

代表取締役社長：金 元 鐘
事業内容：セキュリティ機器の輸入並びに開発、製造、販売、設計、施工、アフターサービス
AI、画像解析技術を活用した各種ソリューションの開発、販売
インカムをはじめとした各種通信機器の開発、製造、販売
EC事業

TBグローバルテクノロジーズ株式会社

代表取締役社長：Laurent Poidevin
事業内容：流体荷役装置等エネルギー関連装置及び機械等の開発、設計、製造、販売、アフターサービス
ロボット事業、エネルギー関連の新規事業開発
理科学機器、産業機器等の輸出入

東京貿易テクノシステム株式会社

代表取締役社長：水原 弘人
事業内容：三次元測定装置(CNC自動測定機、非接触計測機、計測ロボット等含)、モデル加工専用機、関連ソフトウェア(デザイン、検査、解析、データ処理)等の設計・開発・製造・販売、輸出入、サービス

東京貿易マテリアル株式会社

代表取締役社長：重住 寛
事業内容：資材事業(耐火物の開発・調達・販売及びアフターサービス)
鉄鋼事業(薄板・厚板鋼板、ステンレス、線材等の調達、販売)
資源・原料事業(鉄鋼原料、資機材の調達、販売)
デジタルソリューション事業(鉄鋼メーカーを主とした課題解決)

東京貿易メカニクス株式会社

代表取締役社長：三須 丈義
事業内容：ガス関連機器の設計・開発・製造・販売・メンテナンス等アフターサービス

株式会社tb innovations

代表取締役社長：高 賢 啓
事業内容：戦略投資(コーポレート・ベンチャー・キャピタル)、コンサルティング、新事業開発

東京貿易メディシス株式会社

代表取締役社長：森山 重
事業内容：生化学自動分析装置の開発・製造及び販売
臨床検査システムの開発、販売

テービーテック株式会社

代表取締役社長：金井 恭 秀
事業内容：受託ソフトウェア・パッケージソフトウェアの開発、ネットワークシステムの構築、システムアウトソーシング、コンサルタント業務

海外グループ会社

アメリカ合衆国
TOKYO BOEKI NORTH AMERICA, INC. (ケンタッキー)

PRESIDENT：井ノ山 靖紀
事業内容：三次元測定機及び関連ソフトウェアの販売とサービス

中国
東京貿易(中国)有限公司 (上海)

董事長：杉原 正章
事業内容：中国における資材・資源・鉄鋼事業及び新規事業開発

東京貿易技研(広州)有限公司 (広州)

董事長：倉持 幸正
事業内容：三次元測定機及び関連ソフトウェアの販売とサービス

タイ
TBTS(THAILAND)CO.,LTD. (バンコク)

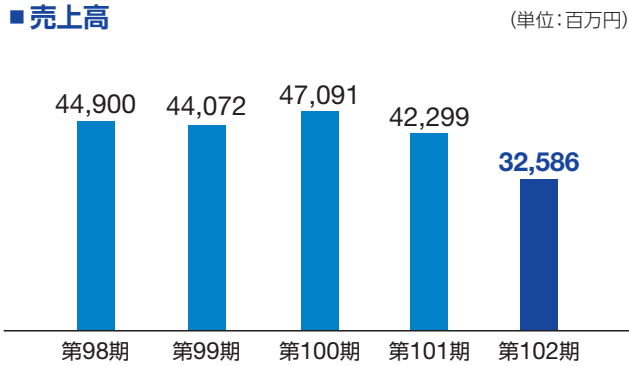
PRESIDENT：中里 太郎
事業内容：三次元測定機及び関連ソフトウェアの販売とサービス

CIS
TOKYO BOEKI (RUS) LTD. (モスクワ)

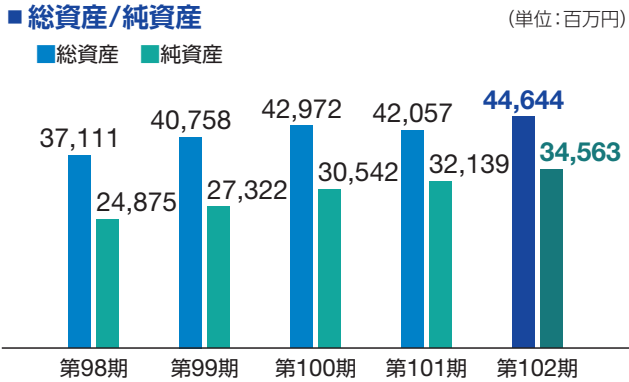
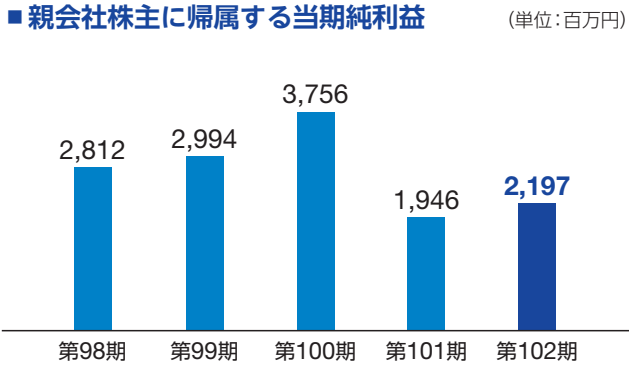
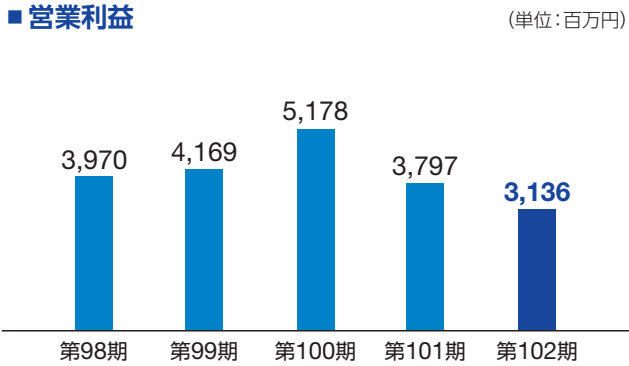
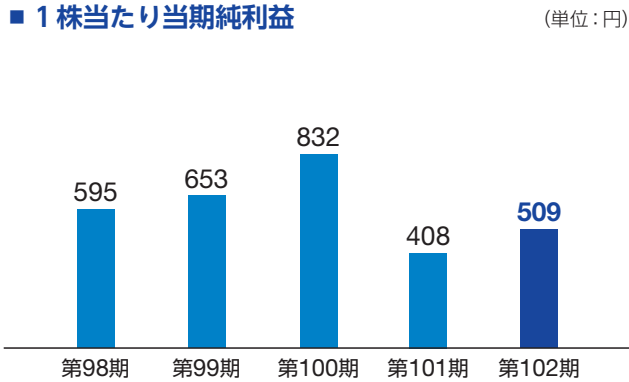
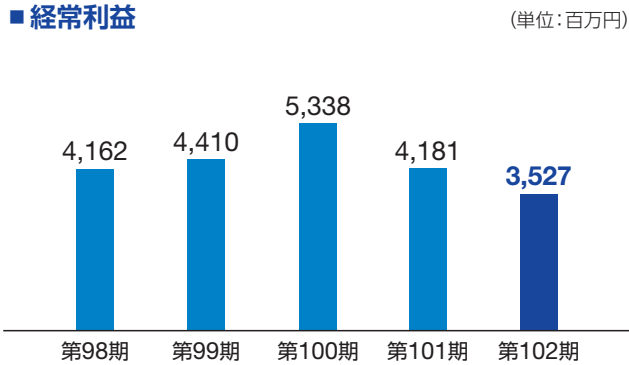
GENERAL DIRECTOR：瀧川 敬司
事業内容：CIS諸国向けの産業機器、並びに理科学機器の販売事業

(2022年6月24日現在)

決算ハイライト



注)第102期の売上高は、収益認識会計基準等の適用により、従来の会計基準と比較して12,730百万円減少しております。



連結財務諸表

■連結貸借対照表 (単位:百万円)

科 目	当 期 2022年3月31日現在	前 期 2021年3月31日現在
資産の部		
流動資産	34,967	33,465
固定資産	9,677	8,591
有形固定資産	3,298	3,321
無形固定資産	569	706
投資その他の資産	5,809	4,562
資産合計	44,644	42,057
負債の部		
流動負債	9,435	9,127
固定負債	645	790
負債合計	10,081	9,917
純資産の部		
株主資本	32,947	31,118
資本金	5,000	5,000
利益剰余金	28,512	26,682
自己株式	△564	△564
その他の包括利益累計額	1,427	833
非支配株主持分	188	187
純資産合計	34,563	32,139
負債・純資産合計	44,644	42,057

■連結損益計算書 (単位:百万円)

科 目	当 期 2021年4月1日～ 2022年3月31日	前 期 2020年4月1日～ 2021年3月31日
売上高	32,586	42,299
売上原価	17,749	27,162
売上総利益	14,837	15,136
販売費及び一般管理費	11,700	11,339
営業利益	3,136	3,797
営業外収益	511	556
営業外費用	120	172
経常利益	3,527	4,181
特別損失	284	1,040
税金等調整前当期純利益	3,243	3,141
法人税等	1,044	1,185
当期純利益	2,198	1,955
非支配株主に帰属する当期純利益	0	9
親会社株主に帰属する当期純利益	2,197	1,946

注)当期の売上高は、収益認識会計基準等の適用により、従来の会計基準と比較して12,730百万円減少しております。

(注)金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

会社概要/株式の状況

会社概要 (2022年3月31日現在)

東京貿易グループ 東京貿易ホールディングス株式会社
及びグループ14社 (合計15社)

設 立 1947年 (昭和22年) 10月30日

資 本 金 50億円 (株主資本329億円)

従 業 員 963名

本 社 東京貿易ホールディングス株式会社
(純粋持株会社) 〒104-0031
東京都中央区京橋2丁目2番1号
京橋エドグラン

東京貿易ホールディングス株式会社 役員紹介 (2022年6月24日現在)

取締役

代表取締役会長 加藤 三四郎 (富弘)

代表取締役社長 坪内 秀介

取締役副社長 金 元 鏞

取締役 重 住 寛

取締役 中 川 伸 吾

社外取締役 佐藤 誠 治

監査役

常勤監査役 菊地 秀之

社外監査役 沼田 美穂

社外監査役 櫻井 賢治

株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数 38,519,920株

発行済株式総数 普通株式 4,281,140株
(自己株式を除く)
A種優先株式 1,700,000株

株主数 124名

主要な法人株主	持株数	持株比率
東京貿易株式会社	1,700千株	28.42%
東貿持株会	625千株	10.46%
東京海上日動火災保険株式会社	498千株	8.33%
トーア再保険株式会社	408千株	6.82%
株式会社三菱UFJ銀行	249千株	4.16%
日本生命保険相互会社	120千株	2.01%

※ 東京貿易株式会社の1,700千株はA種優先株式になります。

当社グループ ホームページのご案内

ホームページでは当社の最新ニュースや事業紹介など
さまざまなコンテンツを掲載しております。

<https://www.tokyo-boeki.co.jp/>



東京貿易グループ

〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目2番1号 京橋エドグラン
TEL : 03-6841-8300 FAX : 03-6841-8388

